編輯室内外

大東亞戰勃發以來大戰完遂の爲に國民を擧げて日常生活に刷新改善の實を擧げなければならぬことに注意し、識者不識者を問はず克く之を口にするに至つた。だが交通道徳の惡習は勿論のこと公定價格が決定せらるゝに從ひ闇取引が熾んになり、其の範圍が擴められるゝことが甚しきに至つた。之は自由主義個人主義の餘弊といへば夫れ迄であるが、汽車改札口の混雜、乘降の混亂、電車バスの吾れ勝ちの動作、老人病者に座を譲れとの標語も何のその、睡る眞似する若者達の姿、官廳用自動車すらがストップの無視、歩道上を自轉車の疾驅、公定價格設定が何れは物資の雲隱れ、海苔といはず塵紙といはず殆んと悉くが夫れである。吾人は斯る狀態を見るにつけ、腹立たしくなる。此は吾人のみではなからう、そしてそうはならぬ惱がある。

○小畑氏が遵法精神を說く所、實に剴切を極めておる。ストップの信號を無視すること、闇取引をすること、買溜をすること等苟くも法制に違反することは人殺をしたり泥棒をしたりすることと同樣に、法制違反はもとより元來惡い事である、してはならぬことであると皆が思ふ樣にならなければならぬ。斯樣なことをすることを恥しい事だと思ふ樣になることが必要以上必要の事である。警察官が目の前におらねばよい、檢事が知らなければと思ふ樣では、國家の要求する處に反する事である。自ら相戒め互に愼しみ行くことが特に戰時下に於て勉め誠めねばならぬ大切な事である。

○外務省が大東亞省の新設と共に其の機構を縮少せられ、政務、通商、條約、調査の四局となり、除外された純外交と云ふ範圍となつた。併し政務局の今昔を省みて、山座、倉知、阿部、小池、小幡、芳澤諸氏の局長たりしを思ひ、就中彼の鐵道王ハリマンが南滿鐵道横取りの一幕を物の見事に蹴散らした山座局長の手腕の如き其の氣骨が窺はれる。憂ふるをやめよ、政務局の復活は戰時外交遂行上其の氣魄に於て新しき機能を發揮し得る途が備へられたのである。

○本誌九月號に於て松葉榮重氏が「自動車交通と道路問題の一考察」と題し自動車道路と其の沿線への影響、廣地域開發と自動車道路の必要、道路問題の將來性等を詳論せる所は國土計畫の樹立を促進しなければならぬ我邦として大に參考としなければならぬ所論である。又井關技師の「南方視察日記」を一讀すれば南方の狀況手に取るが如く其の開發の促進せざるべからざるを知るべく、且つ其の如何に當局が銳意治安の保持と產業の開發に努力せるかを認め得るのであつて、精讀の要あるを覺ゆる次第である。

○東京市の新市長岸本綾夫氏は市吏員の吏道訓を發表せられたが、玆に深く思を致さねばならぬことがある。機構は一つの形體である、之を運營するは人である。その人が次の如き覺悟と實行を期待する。卽ち修身齊家立派な市民となり、感謝報恩の念に燃え、熱と責任とを以て職務を執行し、自肅自戒常に大丈夫の志を抱き、陋習を打破して創意を發揮し、世界の强豪英米を相手として戰ひつゝあることを忘れざることであると寔に要をつかんで訓へられたものである。獨り東京市吏員といはず總ての公吏、官吏の心得べきことである。要は實踐あるのみ。

○地方事務所の設置に依つて考慮さるゝこととなつた郡の廢合、區域の變更は結局勅令の定むる所に依り其の手續が講ぜらるることとなるのであらう。だが郡制廢止後の今日單なる行政區畫としてしの存在に止まる郡が何故に廢合區域變更の必要ありや、郡の名稱もかなり古きものであつて、あながち地方事務所の管轄の點のみより之が廢合區域變更を敢てするは如何なるものか。夫よりは府縣の廢合、町村の廢合、區域變更か一段の重要性を有するのではなからうか、事は難易は問ふを要せず斷乎たる處置を望まざるを得ない。（洮）

㊂停

定價　一部　金五十錢
　　　一ヶ年分　金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省内
發行所　社團法人　道路改良會
電話銀座(57)〇四二七
振替貯金口座番號一九〇一六六

東京市赤坂區氷川町一七
發行者編輯者　平井良成

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所(東東二一〇)　株式會社　常磐印刷所
印刷者　奈良直一

日本出版文化協會會員番號二二〇〇四五